

令和7年8月 新宮町教育委員会定例会 会議録

1 開催日時

令和7年8月22日（金） 9時21分から10時20分まで

2 場所

新宮町役場 2階 第2会議室

3 出席者

小川教育長、吉松委員、横山委員、本多委員、小池委員

4 欠席者

なし

5 出席職員

桐島学校教育課長、井上社会教育課長、三船学校教育課長補佐、船越社会教育課長補佐、秋山社会教育課長補佐、堀川指導主事、高口指導主事

6 欠席職員

なし

7 日程

(1) 日程第1 開会の宣告

(小川教育長)

ただ今から8月の教育委員会定例会を開会いたします。

本日は、出席委員4名で、全員出席です。

また、事務局職員も全員出席です。

9時21分開始

(2) 日程第2 会議録署名議員の指名について

(小川教育長)

会議録署名議員は会議規則第17条の規定により、教育長及び会議で決めた委員の1名となっておりますので、今回は横山委員にお願いいたします。

よろしくお願いいたします。

(3) 日程第3 教育長の報告事項

(小川教育長)

(資料により説明)

① 令和7年度福岡県市町村教育委員会教育長研修会の報告について（全体講演会）

(小川教育長)

質問等はありませんか。（特になし）

（４）日程第４ 議事の審議

①第３号議案 そぴあしんぐう使用料条例施行規則の一部を改正する規則の制定について

（井上社会教育課長）（議案により説明）

（小川教育長）

質問等はありませんか。（特になし）

（小川教育長）

本議案を承認してよろしいですか。（全員承認）

では、本議案は承認されました。

②第４号議案 新宮町新体育館建設基本構想策定協議会設置要綱の制定について

（井上社会教育課長）（議案により説明）

（小川教育長）

質問等はありませんか。（特になし）

（小川教育長）

本議案を承認してよろしいですか。（全員承認）

では、本議案は承認されました。

（５）日程第５ 諸報告

①学校教育課の報告について

（桐島学校教育課長）（資料により学校教育課の報告）

ア 報告事項

- ・経過報告
- ・今後の予定
- ・令和７年度全国学力・学習状況調査の結果について
（詳細は、堀川指導主事が説明）
- ・令和７年度新宮町小中学生海外派遣事業について
（詳細は、三船学校教育課長補佐が説明）
- ・豪雨被害（８月１０日～８月１１日）の状況について
（詳細は、三船学校教育課長補佐が説明）
- ・工事等の状況について
（詳細は、三船学校教育課長補佐が説明）

イ 連絡事項

- ・令和８年度の教育要望にかかる人権・同和教育研修会について
（詳細は、三船学校教育課長補佐が説明）
- ・令和８年度就学時健康診断について
（詳細は、三船学校教育課長補佐が説明）

(小川教育長)

質問等はありませんか。

(本多委員)

2点、質問させていただきます。まず、1点目ですが、全国学力・学習状況調査の結果報告を伺いましたが、素晴らしい結果で、新宮町の子ども達がこんなにもよく学習ができているのだと、非常に感動しました。

本日、追加配付された10ページの全体考察で、先生方がしっかり取り組んでいた、生徒とも連携がしっかりととれ、サポートを手厚くしていただいた結果が今回の良い成績に結びついているというような分析をされていました。

そこで、このサポートということにつきまして、安全・安心な環境の面では、やはり、保護者の皆さんであるとか、地域の方など、コミュニティスクールとして学校も取り組んでいるので、やはり地域・社会の支えがある上で子ども達のしっかりとした学習など育ちがあると思いますので、その部分の要因も考察の中に入れていただければよかったですのではないかと感じました。

2点目ですが、新宮町小中学生海外派遣事業の報告を受け、写真を見るとすごく楽しそうに生き生きとしている様子が分かり、中学校1年生でこのような色んな体験ができるというのは本当に素晴らしいことだと思います。私も、知り合いの方などに事業への申し込み方法などを尋ねられる機会がありましたので、申し込み方法や抽選方法などについて教えてください。

(三船学校教育課長補佐)

申し込みに当たっては、所定の様式に氏名等の必要事項を記入いただき、申し込み理由を記入していただく欄を設けており、そこに生徒自身で記入してもらおう形にしています。

抽選方法は、申込総数を各学校からの申込者の割合で20人の参加人数を按分し、今回は新宮中学校からは相島分校を含めて14名の枠とし、新宮東中学校は6名の参加枠とさせていただきました。そして、両中学校の校長先生に立会っていただき、参加者総数分の抽選券を作成し、それを無作為に抽出して決定いたしました。

この事業では、英語の能力が高い生徒だけではなく、英語が得意ではない生徒でもこの事業をきっかけに英語に興味を持つかもしれませんので、全ての生徒にこの事業の機会を与えてあげたいという考えのもと、参加者の選定を行いました。

そのため、面接や作文を提出するなどの手続きは行っておりません。

(横山委員)

私も小中学生海外派遣事業についてですが、参加申込総数116名に対して派遣する生徒の合計が20名ということで、狭き門なのではないかと感じるのですが、例えば、もう少し参加人数を増やすとか、2班体制で実施するなどの方法は検討できないものでしょうか。

(三船学校教育課長補佐)

参加人数ですが、これについては議会のほうからも、増やしてはどうかという意見などはいただいてもいます。

町としましては、何よりも安全にこの事業を遂行することを第一に考えており、そ

のためには、参加者全体にしっかりと目が行き届き、安全管理ができる体制を作る必要があります。そのためには10人のグループにつき1名の引率者を配置することが最低限必要であるため、両中学校から1名ずつ教員を引率者として来ていただきました。また、現地では4つのグループに分かれての活動などを行いますので、教員2名に加えて、一緒に随行する町職員を1名、委託する旅行会社の添乗員1名の合計4名体制で子ども達の見守りに当たりました。以上のことから、派遣生の安全確保の観点から参加者数を20名にさせていただきました。

実施回数を増やすことにつきましては、予算の問題もありますし、2回の事業を実施する期間に随行職員を確保できるのかというような問題もありますので、なかなか困難であると考えております。

(横山委員)

今回の事業に対する助成金というのはどのようなものでしょうか。

(三船学校教育課長補佐)

この助成金は、福岡県市町村振興協会という公益財団法人から助成されるもので、1自治体当たり500万円を上限として交付されるものです。

(横山委員)

豪雨被害の状況についてですが、今回、相島小学校など、色々な被害が出たのですが、私は、もう59年この町に住んでいるのですが、もう何十年振りぐらいだろうかと思うぐらい、とてもひどい豪雨でした。そして、町内の色々な場所が冠水し、車も放置されているような状態が見受けられました。たまたま、今回は夏休み期間中だったため、児童生徒も登校しておらず、子ども達にはあまり影響はなかったのかなと思いました。

しかし、万が一、通常の登校日にであった場合、あの状態で、どの段階で学校を休校にするとか、もしくは登校後にそのような状態になったときにどういう避難をするかということ、今回の豪雨被害を受けて教訓というか訓練などを含めた対策を講じる必要があるのではないかと思います。

(小川教育長)

新宮東中学校では、災害が発生したときにビッググループを使って、保護者が生徒を迎えに来るというドライブスルー形式の引き渡し訓練を行いました。結構混雑してしまい、実際に行っても難しい部分があるという課題が見えたということも聞いております。そのように、実際の災害時を想定した訓練を日頃からすることは非常に重要であると考えます。

数年前、朝倉地方で線状降水帯が発生し、豪雨災害が発生した際、ある中学校では、強い雨が降ってきたため、とにかく生徒を帰宅させようと急いで下校させたそうです。その後、校長が生徒全員安全に帰っているかどうか確認してくるよう指示したところ、その教員が大雨で帰れなくなり、立ち往生したということがあったそうです。もう一つの近くの小学校では、児童を雨がおさまるまで児童を学校に待機させたところ、保護者が迎えに来られた児童は自宅に帰ることができたけれども、保護者が迎えに来られない児童も出て、その児童は学校に泊ったということです。

このように、判断をする時期というものは、その状況に応じて学校現場としてもぎりぎりのところで行うことになるため、非常に悩ましいところがあります。そのため

も、委員がおっしゃったように日頃から様々な災害を想定しながら訓練を重ねていく必要があると改めて感じました。

また、次回の校長会において、今回の災害を受けての今後の様々な災害時の対策などを協議できればと思います。

それから先ほど、全国学力・学習状況調査の考察の中で、保護者や地域の関わりを評価に入れるべきではという御意見をいただきましたが、今回の豪雨により、相島小学校に浸水被害があったのですが、私は翌日の12日に相島に出向いて現場を見させてもらったところ、本当に雨水が浸水したのかというぐらい、きれいになっていました。それはすぐに相島の消防団の方とPTAの方、それから一部の有志の方が、11日の浸水後、その日の内に溜まった雨水も全て吸い出してもらい、廊下や職員室などの水もかき出し、掃除も消毒もしてもらいました。改めてその地域力というか島の地域力というところでは、非常に感謝したところございました。そのようなところの新宮町の強みというか、そういったところも改めて感じた被害であるし、日頃、学校現場が想定以上になったときの対応の仕方をもう一度見直す機会になる災害であったと感じましたので、また、今後被害が起きないような取組を続けていければと思っております。

(吉松委員)

全国学力・学習状況調査の分析結果を伺って、本当に素晴らしいなと思いました。学力だけではなくて、先ほどおっしゃったように、ウェルビーイングの要素の観点から見ても、子ども達がとても高い数値にあるということは、本当に環境や子ども達と先生達の関係性なども良好であるからこそその成果なのだろうなと思いました。

いつもこの分析を読ませていただくときに少し思ってしまうのが、不登校の子たちはどうなのかなというのが、どうしても心から離れないんですね。多分、不登校の子たちは、テストを受けられていないことのほうが多いだろうし、その子たちの心はどうなっているのかなというふうに思いますので、その辺のところももう少し、分かるというか、できるとありがたいと思いました。

それから、今回、オーストラリアのシドニーに、新宮町の生徒を派遣するこの海外派遣事業は素晴らしいなと思いました。本当にこの都市ならではの感動というのがすごくあるのだろうなというふうに思いました。

去年は子ども達の文章で感想をいただいていたのですが、今回はJ'sGROWという個人毎の気質などを診断し、この事業を通して、前と後の比較ができるということでしたが、どのようなものか見せていただければと思いました。

(J'sGROWを提示、説明)

(堀川指導主事)

資料1の1ページに受験者の児童・生徒数を教科毎に人数を載せています。やはりこれを見ると、例えば中学校で見るとCBT（オンライン方式）の理科と、通常の形で実施した国語、数学の受験者数を比較したら約10人違う状況です。

やはり、その生徒なりに頑張って受験をしてみようという子とか、クロームブックによるテストだと受けやすい子がいるなど、様々であるというのが実態としてあります。やはり、このような生徒というのは普段別室でオンライン配信を見て授業を受けたり、

個別の課題を行っていたりというところがあります。まずは、受験できたというところを、学校からは、しっかり評価してあげて生徒達に返していくなど、声かけをしていきたいと思っています。

実際、学校としてもそのような生徒たちに対して、人的な部分でも支援を行いながら、排除するのではなくて、そのような生徒達も含めて学力が向上していくために人であったり、教材であったり、様々な支援を学校も考えながら進めているところです。ただ、今回の調査結果では、そういった部分は見えてこないですが、補足という形で説明させていただきます。

(小川教育長)

今年度から調査結果の出され方として、まず、それぞれの学校に受験者のデータが送られまして、それを受けて各学校においては、例えば中学校では三者面談を行うのですが、その時にこの調査結果をもって面談を実施したりしています。

その際に、学力だけではなく、心の面もケアしながら、気付いたところは声をかけているという報告を校長から受けていますので、先ほど吉松委員がおっしゃったような、不登校傾向の子ども達に対する、この結果を活用した色々な声かけというのは、さらに進めていく必要があると思っています。

②社会教育課の報告について

(井上社会教育課長) (資料により社会教育課の報告)

ア 報告事項

- ・経過報告
- ・今後の予定
- ・工事の状況について
(詳細は、船越社会教育課長補佐が説明)
- ・そびあしんぐうロビーのリニューアルについて
(詳細は、船越社会教育課長補佐が説明)
- ・町立図書館利用状況及び行事予定について
(詳細は、秋山社会教育課長補佐が説明)

イ その他

- ・そびあしんぐうの豪雨被害状況について
(詳細は、船越社会教育課長補佐が説明)
- ・横大路家住宅の豪雨被害状況について
(詳細は、秋山社会教育課長補佐が説明)

(小川教育長)

質問等はありませんか。(特になし)

全体を通して、質問等はありませんか。

(本多委員)

本日の議題にはないので恐縮ですが、先日、西日本新聞に、宗像市で夏休みの間に学校を開放するという取組を今年から始められたという記事が載ってまして、地域の

方や一般の方などに開放するということでした。近年、猛暑が続いており、10年前と比較にならないような暑さの中で、大変な思いをされている方のために学校施設を使っていたと内容が書かれていたのですが、とても良い取組だと思いました。これは教育委員会の取組みなのか、市の取組みなのかはわからなかったのですが、新宮町ではそのような取組みについて、教育委員会あるいは他の課などで考えているのかと思ひまして、質問させていただきました。

(小川教育長)

私も同じ記事を拝見いたしました。町としては、現在のところ考えてはいませんが、この件について指導主事と協議をしたところ、例えば中学校であれば夏休みに部活動を行っているのですが、それ以外では夏休みの前半に三者面談であるとか、補充学習などを行っており、中学生にとっては夏休みの居場所を学校でつくって、対策というか、学習の補充も含めて行っています。それから本町では、社会教育課で各地域において寺子屋活動を公民館で行っていただいております。今年は実施地区も少し増えて9地区で行っていただいております。私も視察させていただきましたが、100人を超える地域や、20人から30人くらいの地域もあり、それぞれが地域の居場所として地区の人達が支えていただき、子ども達が中心となって行っている状況です。これも新宮町独自の取組みであり、強みではないかと思うところがありまして、これを新聞記事のような形で学校を開放すると考えたときに、果たして実施できるのだろうかと思ひました。

私も以前、他市町の中学校にいたときは、長期休業中に学校の図書室を開放する取組みを学校独自で行ったのですが、利用者数はそんなに多くなかったのですが、来られた方は喜んでおられました。そのように学校を開放するというはすごく意味があるなと感じたものの、その後に新型コロナウイルスが拡大し、不特定多数の人が入ってこられると感染リスクが高まる懸念が生じるとか、今年、東京で発生した事案で、飲酒をした上で学校に侵入し、教員に暴力を振るったというような事案があり、学校関係者以外の方の出入りについては、なかなか難しい課題があります。また、教職員の働き方改革という面からも学校を開放していくというのはなかなか制限が高いのではないかと感じました。

新聞記事を見て、そのようなやり取りをしたところです。

(6) 日程第6 その他

①教育委員会定例会の日程について

(桐島学校教育課長) (日程確認)

ア 9月定例会

令和7年10月1日(水)

新宮東小学校学校訪問終了後(確定)

イ 10月定例会

令和7年10月24日(金)

9時30分から(予定)

(7) 日程第7 閉会の宣告

(小川教育長)

以上で、8月の新宮町教育委員会定例会を閉会します。

10時20分終了

署名 教育長 小 川 隆 弘

署名 委 員 横 山 英 治
